

第5回若手の会リトリート開催のご案内

年会の前日から1泊2日の合宿形式で開催していた若手の会の交流イベントは、今年も開催に向けて準備を進めております。2022年に第1回を仙台にて開催し、昨年から新たに『リトリート』として位置づけ、少しずつ参加者も増え、徐々に存在が浸透してきたように感じます。5回目となる今年も参加のしやすさから、盛岡大会の前日より会場近郊での開催を企画しておりますので、是非ご参加ください。

第5回リトリート開催概要

・日程：

2026年9月8日（火）～9日（水）

本会の前日～当日午前まで

・場所：

盛岡つなぎ温泉 湯守ホテル大観

（岩手県盛岡市繁字湯ノ館 37-1）

<https://www.itoenhotel.com/taikan/>

・参加資格：

学生（学部生・大学院生・研究生）、および独立PIではない研究員・教員の方。

*アカデミアに限らず、産業界や医療分野など、多様なバックグラウンドを持つ皆さまのご参加をお待ちしております。ぜひ交流を深めましょう。

・参加費（宿泊費込）：

検討中（宿泊者で学生 15,000 円、社会人 20,000 円程度を予定）

*例年通り日帰りも選択可

開催場所について

今年のリトリートは岩手県での開催となります。いくつか開催場所を検討して、最終的に盛岡駅から路線バスで約30-40分ほどの盛岡つなぎ温泉を会場に選定しました。本会会場に近い盛岡駅近傍にもいくつか候補はありましたが、例年のリトリートで好評のポスター討論に使える会場をできる限り夜遅くまで確保したいという思いがあります。少し移動時間をいただくこととなりますが、今年は地方都市開催ならではの会場を堪能しつつ、気持ちほぐれたところで熱い討論を交わしていただければと思います。



盛岡つなぎ温泉（観光 Web ページより）



アクセスマップ（つなぎ温泉 map より）



湯守ホテル大観（公式 Web ページより）

盛岡は、川と山々に囲まれた盆地に位置し、冬は寒く、夏は暑い気候が特徴です。学会が開催される9月もまだまだ暑さが続いている時期かと思しますので、ご来訪の際は熱中症などに十分お気をつけください。

盛岡といえば、いわゆる盛岡三大麺（盛岡冷麺、わんこそば、じゃじゃ麺）が有名で、駅前にもそれらを楽しめるお店がそろっています。加えて、岩手県は歴史的に南部杜氏として知られる日本酒造りのスペシャリストを輩出してきた土地でもあり、おいしい日本酒や地ビールもたくさんあります。ぜひ会期中に味わってみてください。盛岡駅周辺にはいくつかの川が流れていますが、その一つである中津川に沿って歩くと、盛岡城跡や、2012年まで実際に銀行として使われていた岩手銀行赤レンガ館が見えてきます。盛岡を散策する際の参考になれば幸いです。学会は金曜日に終了予定ですが、土曜日に観光を考えている方は、130年以上の歴史をもつ小岩井農場を訪れて、岩手の自然を感じてみるのも良いかもしれません。

プログラムについて

具体的なプログラムは、実行委員にて鋭意検討中ですが、いくつか決まっている部分についてご紹介させていただきます。まずリトリートで例年好評をいただいているポスター討論を、例年以上に“がっつり”できるように会場選びから準備しています。昨年からのポスター賞も設けておりますので、今年も是非熱いご討論をお願いいたします。研究に関わることのみならず、進学、就職、研究生活などなど色々な情報交換の場として楽しんでいただけたらと思います。また、これまでほぼ毎年研究室主宰者（PI）の先生方にお越しいただき、研究からキャリアパスや若手への思いも含めた多様なご講演をいただきました。今年もPIによる招待講演を予定し、東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻の竹内春樹先生にご快諾いただきました。嗅覚

系神経回路形成に関わる業績が非常に有名ですが、神経疾患の予防や治療に向けた研究をはじめ、民間企業との研究も積極的にされています。非常にバイタリティ溢れる先生ですので、分野身分問わず参加者の皆様にとって興味深いご講演、またポスター討論では鋭いディスカッションをいただけるのではと思います。

その他のプログラムについても、過去の参加者アンケートを踏まえ、参加者同士の交流を一層深められるイベントを目指しています。学会会場ではなかなか話しかけられないようなトップランナーの先生方と食事を共にし、ここでしか聞けない貴重な話をたくさん引き出せるチャンスです。また、本会で発表予定の方にとっては、発表前の前哨戦として気軽に練習できる場にもなります。特に学会デビューの学生さんにとっては、例年“本番前の良い練習になりました”とコメントいただけるような貴重な機会になっておりますので、是非参加していただければと思います。例年の詳細な様子は、会報（各年の2号誌）にも開催報告がございますので、適宜ご参照いただけますと幸いです。

開催情報や参加登録方法は、随時若手の会ウェブページや味と匂学会のメーリングリスト等にてお知らせ致しますのでフォローいただくと幸いです。参加方法については、年会参加登録と同時期に登録用Google Formのリンクを配信しますので、必要事項を記入のうえ、参加登録をお願いいたします。若手の会リトリートは、日本味と匂学会の裾野を広げるため非会員の方もご参加頂けます。学会員の方々におかれましては、会員非会員を問わず興味を持たれた方へのご周知のほど何卒よろしく願い申し上げます。近日中に詳細を決定し、アナウンスいたしますので、続報をお待ちください。

（市沢翔太・岩田哲郎）

若手の会運営委員の紹介と新メンバー募集

発足時から6年目となる若手の会ですが、初回はまさに手探り状態で始まりました。例年、多様な学生・職位の方にご参加いただき、運営委員の顔触れも変わりつつ、学会からのご支援もいただきながら、毎年開催できておりますこと、関係各位に改めて御礼申し上げます。おかげさまでこれまで延べ80名以上の方にご参加いただきました。約4~5割は学生で、実行委員以外でもリピーターとして複数回参加いただいた方もおり、アカデミア・企業など所属や身分の枠を超えて広く気軽に交流できた、キャリアプランに役立った、と運営冥利に尽きるコメントを多くいただいています。また、リトリートでポスター発表された方が、本大会で優秀発表賞を受賞されることも多くあり、リトリートのポスターセッションが研究発表の洗練に役立っていることを嬉しく思います。

年度	開催地	参加人数
2022年	仙台	17名
2023年	横浜	24名
2024年	岡山	21名
2025年	大阪	26名

今年もこれまでの参加者や年会関係者にお声がけし、新たに2名が運営委員に加わっていただきました。新メンバーの人柄を知っていただきたく、研究内容や学会に入会した経緯、会員の皆様への簡単なメッセージをご紹介しますのでぜひご覧ください。今年度の委員名簿や継続者の自己紹介については、若手の会ウエ

ブページやこれまでの会報（各年の1号誌）をご参照いただけますとありがたく存じます。

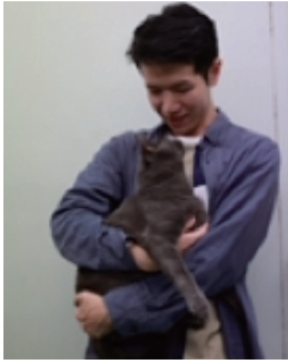
運営委員のメンバーが循環しやすい体制を前提に、「若手の会」の活動を継続できるよう、運営委員として携わってくださる方を随時募集しています。まずは若手の皆様には、リトリートに参加していただき、ぜひ雰囲気を感じていただけたらと思います。日本味と匂学会の特色として、アカデミアのみならず、企業や医療関係の方が多く参加していることが挙げられます。通常業務と若手の会の運営を両立させることは難しそう、と思われるかもしれませんが、現在13名の学生も含むメンバーどうしお互いにサポートし、無理のない運営を心掛けております。これまでも、運営委員各位から要望のあったプログラムを盛り込むなど、年度ごとに特色があり、様々な業界の会員の皆様に若手の会に携わっていただくことで、若手の会、そして味と匂学会そのものを一層盛り上げることが可能になります。また、これまでに運営委員に携わっていただいた方へもアドバイザーとして引き続き企画に携わっていただけるようお願いしております。

我こそはという方、ちょっと興味がわいた方、何か質問がございましたらどうぞ遠慮なくお問い合わせください。またリトリートや本大会の会場でも、運営委員にもどうぞお気軽に声をかけてください。お待ちしております。

東京科学大学 生命理工学院

岩田 哲郎

tiwata @ life.isct.ac.jp



•名前：市沢 翔太（いちざわ しょうた）

味と匂学会若手の会実行委員 副委員長

•所属：岩手大学連合農学研究科 博士課程2年(DC2)

•自身の研究

ネコの腎臓には脂肪滴が蓄積しているのですが、そこにはユニークな脂肪酸が含まれています。

この特徴的な成分がどのように合成されているのか、生体内でどのような機能を有しているのか明らかにするために研究をしています。

写真は私が当研究室に配属された年に生まれた子です。

•日本味と匂学会に入ったきっかけ

修士時代にイリオモテヤマネコとツシマヤマネコの尿の揮発成分の分析をしておりました。その成果について本会で発表させていただき、その縁で入会いたしました。

•最後に一言

今年の味と匂学会は岩手開催です！

是非若手の会にも参加して、交流を深めていただけると嬉しいです！！

ぜひ周りにも勧めてみてください！！！！



•名前：前川 文子（まえがわ あやこ）

•所属：福井大学医学部

脳形態機能学 博士課程 大学院生

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

•研究内容:アレルギー性鼻炎/嗅覚/QOL

耳鼻咽喉科医として診療するなかで、アレルギー性鼻炎の患者さんのQOLに関心を持つようになりました。

現在は、アレルギー性鼻炎モデルマウスを用いて、アレルギー性鼻炎に伴う嗅覚障害やQOL低下に関連する組織学的変化を研究しています。

•日本味と匂学会・若手の会に入会した経緯

師匠に誘っていただいたことをきっかけに、日本味と匂学会・若手の会に入会しました。

若手の先生方との交流を通して得た学びや刺激を、研究に生かしていきたいです。

•会員の皆さまへのメッセージ

企業・アカデミア・臨床系が交流しやすいことは、若手の会の魅力だと思います。

若手の会には臨床医の会員がまだ少ない状況ですが、少しでも若手の会を盛り上げる力になれるよう頑張ります！